

研究成果情報

平成 30 年度

早期収穫開始を可能にする「ル レクチェ」のジョイント栽培		
[要約] 「ル レクチェ」の苗木を密植し、接木して連結するジョイント栽培により、定植後5年目から収穫でき、慣行の棚栽培に比べ <u>早期多収</u> が可能となる。		
新潟県農業総合研究所園芸研究センター 育種栽培科	連絡先	TEL 0254-27-5555 FAX 0254-27-2659

[背景・ねらい]

「ル レクチェ」はブランド品目として生産拡大を図っているが、高度な栽培管理が必要な上に成園化まで10年以上を要することから栽培面積や生産量が伸び悩んでいる。そこで、日本なし等で普及が進んでいるジョイント栽培技術を「ル レクチェ」に応用し、新規栽培者への導入、短期間の成園化、大規模栽培を可能とする。

[内容]

1 ジョイント栽培の樹形(図1)

2 定植から収穫開始までの流れ(図2)

- (1) 慣行棚栽培より多い167～333本/10aの苗木を準備する。
- (2) 苗木を樹間1～2m、列間3mの間隔で密植する。
- (3) ほ場に定植後に先端新梢を隣接樹とジョイントする。
- (4) 定植後5年目から収穫を開始する。

3 収量

定植6年目には、1t/10a以上の収穫が可能となる(図3、4)。

[導入効果]

新植、改植が促進され、新規導入や規模拡大による省力化、経営安定、生産拡大が図られる。

[導入対象]

少雪地域の新植意向のある農業者、改植意向のある西洋なし「ル レクチェ」生産者

[留意点]

- 1 基本的なジョイント栽培方法は、神奈川県作成「ジョイント仕立て栽培マニュアル」に従う。
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/530381.pdf>(H30年2月21日現在)
- 2 優良台木「ル レクチェ」苗木は限定生産であるため、定植の3年前までに全農にいがたに発注し本数を確保する。
- 3 ジョイント栽培は、神奈川県が開発した特許(特許第4895249号)である。ジョイント実施用の苗木を導入する年の4月1日までに、JAまたは新潟県果樹振興協会に「再実施権の許諾申請書」を提出し、神奈川県との契約窓口であるJA全農にいがたを通じて許諾を受ける必要がある。

[具体的データ]

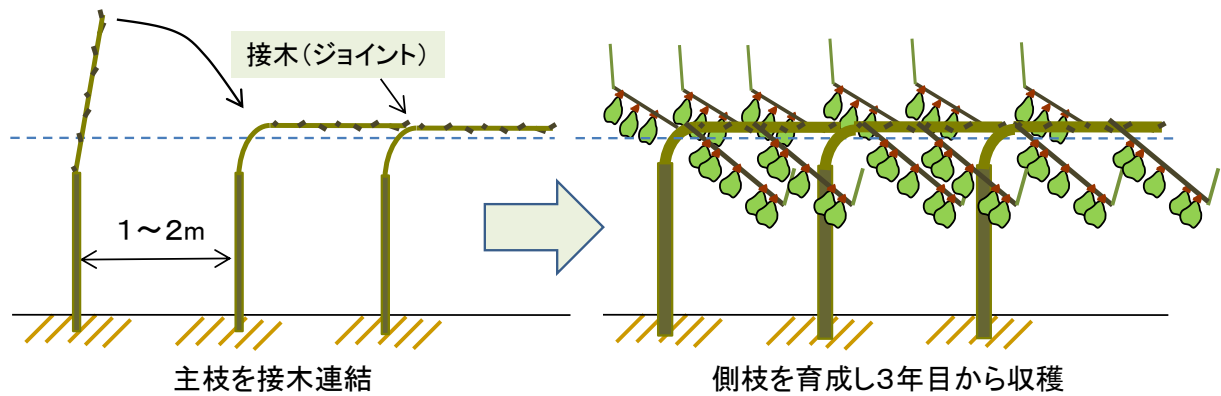


図1 「ル レクチエ」のジョイント栽培

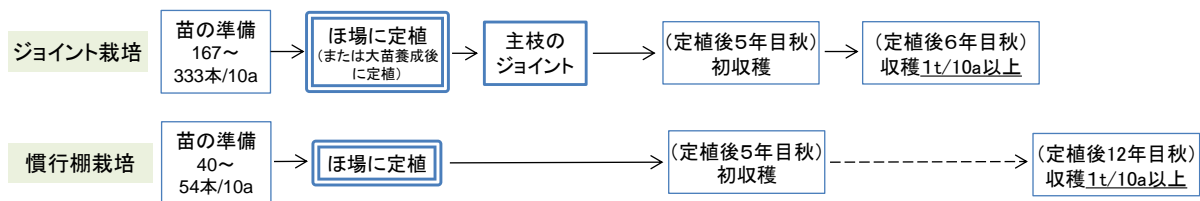


図2 ジョイント栽培と慣行棚栽培の収穫開始までの流れ

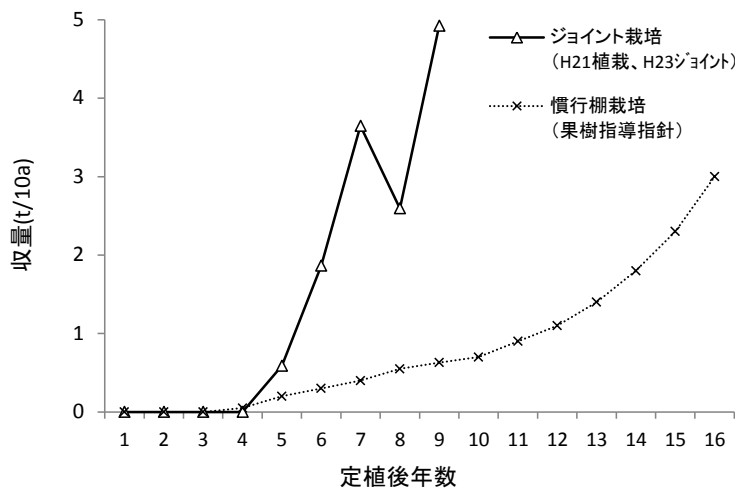


図3 定植後年数と10a 当たり収量の推移

注 ジョイント栽培の収量は樹間2m 列間3m 植えとして10aに換算した
8年目の減収は隔年結果の影響による一時的なものである



図4 定植後9年目の着果状況

[その他]

研究課題名:「ル レクチエ」ブランドの強化拡大に向けた安定生産技術の開発
 予算区分:地域ニーズ(複合営農支援技術開発)
 研究期間:平成27~29年度
 発表論文等:なし